2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニ

Weekly Report Niigata

国際ロータリー
2019-20 年度テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

2019～20 年度
新潟ロータリークラブ会長
山田　隆一

新潟 RC　5月第　3 例会・書面例会（2020.5.26）№3321

(1)　山田　隆一会長挨拶

新潟ロータリークラブ会員の皆様

こんにちは。

三回目の書面例会となります。

5月も下旬になり、来週は暦の上でも夏となります。

新型コロナ問題対応で非日常的な生活を強いられ、精神的にも体力的に厳しい状況に置かれていらっしゃると推察します。お身体には気を付けて、お過ごし下さい。

さて、政府は21日に関西3府県について、「緊急事態宣言」解除を発表し、首都圏4都県と北海道は25日に解除される模様です。全国的にも徐々に「新たな日常」が始まろうとしています。

新潟ロータリークラブも5月19日（火）に臨時理事会を開き6月9日（火）より、皆様の安全、健康保全を確保しながら、「通常に近い形式での例会」を開催する事と、同時に「書面例会」も並行して継続する事を決定し、皆様にお知らせしました。

「通常に近い形式での例会」は12:30より卓話なしで、①三密を避け②マスクを着用し③時間を短縮し④食事を省いて　運営するようイタリア軒と検討、確認中です。

只し、①持病、体調が心配②集会参加を制限されているその他の状況で出席出来ない会員の皆様もいらっしゃるでしょうから、無理はなさらないで下さい。その為に暫くは「書面例会」も継続し、そちらから参加頂きたいと思います。

暫くは新たな、慣れない状況での活動となりましょうが、ご協力を頂いて、新型コロナ問題対応を共に乗り切って行きましょう。

よろしくお願い申し上げます。

（この原稿は25日に作成しています）

(2)　ニコニコボックス紹介（５月１９日以降受付）

・佐藤　善昭君　4月誕生日のワインありがとうございました。これからも健康で頑張れるようにニコニコします。

・秋山 博一君　5月結婚記念日のお花を届けて頂きありがとうございました。毎年忘れているのでありがたいです。ニコニコします。

(3)　幹事報告（秋山　博一）

先週の週報、今週の会長挨拶にもありました通り、6月９日より、制限・条件付きではありますが例会を再開いたします。
・例会は１２時３０分より、卓話なし
・マスク着用の上参加
・時間を短縮（３６分間）
・食事を省いての運営
さらには会場と打合せの上、三密を避ける対応を行ないます。

しばらくは週報形式の書面例会も継続致します。

6月2日に現次年度委員長のアッセンブリーを開催致します。該当されます方は出席をお願い致します。

新潟ロータリークラブホームページアドレス
http://www.niigatarc.jp/

『職業奉仕はロータリーの生命維持装置』 その２

2510 地区 PDG 塚原房樹（札幌東 RC）

ロータリーの物語を継承していくためには、語り部の存在が欠かせません。2003 年の国際協議会でグレン・エステス RI 会長エレクトは「ロータリーは世界最大の NPO である」と宣言をしました。ロータリーが NPO への道をまっしぐらに進もうとしているとき、時の RI 会長はピチャイ・ラタクル氏でした。ラタクル氏は、NPO として 国連と共に弱者救済という人道的奉仕に最重点を置く RI に対して警鐘を鳴らしました。氏はタイの敬虔な仏教徒でした。私は、氏を近年まれにみる「ロータリーの語り部」として心から尊敬しています。ご存知の方も多いと思いますが、今一度、ラタクル氏のスピーチを紹介させていただきます。

『ロータリーは障害者、貧困、飢餓、疾病、識字率 世界の子どもたち、何十億人もの人を救い、豊かにしてきました。ロータリーが人道的経済的プログラムで嵐を切り抜けどれほど貢献してきたか、それは誇るに足ることです。しかしそれは立派なことであっても所詮外面的な行いを見ているに過ぎません。ポリオとの戦いには勝つでしょう。あらゆる病気、教育、貧困になおも手を差し伸べなければなりません。この世に善を成すためには、自らの力の限界を知らなければなりません。しかし力の源となる奉仕の哲学が事々に裏切られたのが今の世代なのです。私が申し上げたいのはロータリーの内面の問題です。ロータリーに課せられたもっとも重大な挑戦課題でありながらここのところずっと無視されてきた問題です。いく年もいく年も話題にもされず討議もされなかった挑戦課題、それはロータリーの金看板「職業奉仕」です。今もこれからも職業倫理の提唱と慈愛の心をロータリアン以外の人々に分かち与えていかねばならないのです。残念ながら私たちの多くがこの最も重要なロータリー哲学の真髄を忘れてしまいました。なんと恥ずかしいことではありませんか』「古来、金を求めて失敗した例は枚挙に暇がないが、心を求めて失敗した例は寡聞にして聞かず」という例えの通り、善意の心を伴わない金銭奉仕には限界があります。RIが現代の社会はこうあらねばならないとして、ロータリーの会員がそのための道具に使われただけでは間違っています。またロータリーの基本理念を忘れて、社会の変化に対応していくだけでは人類の幸福は実現できません。正しいロータリー運動とは、ロータリーの会員が、運動をしながら成長していく場合であり、またロータリー思想が世間に広まり、世間の人が成長していく場合が、正しいロータリー運動であります。自らの存在理由を見失い、NPO として自らを定義しようとしたときに、RI という組織は、組織の構成員であるロータリアンとの関連性を失い迷走するでしょう。まさに「職業奉仕はロータリーの生命維持装置」であります。

（2020 年 05 月 12 日）